

## 障害者生活支援センターきよく 事業報告

平成31年度（令和元年度）事業計画に基づいて以下の事業を行いました。

### 1 実施事業

#### (1) 利用者状況

令和2年3月31日現在

事業名	対象利用者
特定相談支援・障害児相談支援	236名

#### (2) 実績件数

##### ア 指定特定相談支援（成人）

サービス等利用計画	95件
モニタリング	368件

##### イ 指定障害児相談支援（児童）

サービス等利用計画	0件
モニタリング	0件

#### (3) 職員体制

職種	人数	備考
所長	1	正規職員（法人内他事業所兼務）
相談支援専門員	10	正規職員（専任）1名 正規職員（法人内他事業所兼務）9名
合計	11	

### 2 重点実施事項

#### (1) 相談支援の知識と技術の向上

久喜市自立支援協議会で2ヶ月ごとに行われる久喜市相談支援連絡会に出席し、市内の関連事業所と様々な情報を共有したり、事業所内でサービス内容や支援方法に関する意見交換を通して、相談員の知識と技術の向上に努めました。

#### (2) 質の高い計画作成

事業所内の事例検討会で、聞き取りのポイントから書類作成に至るまでの意見交換や書類の見直しなどを行い、より質の高い計画に繋がるようにしました。

### 3 事業報告

#### (1) 利用者支援

##### ア 基本相談

(ア)利用者、家族の意向を聞き取り、希望する福祉サービスを利用できるように努めました。

(イ)利用者の身体状況、心理状況、取り巻く環境、生活歴など客観的な情報を整理し、ニーズを抽出しました。

(ウ)アセスメントの結果に基づき、適切な障害福祉サービスの組み合わせについて検討し、サービス等利用計画書を作成しました。

(エ)一定期間ごとに利用者、家族、関連する事業所から聞き取りをし、モニタリング報告書を作成しました。

## (2) 働きやすい職場づくり

- ア 計画作成が円滑に進められるように、法人内他事業所長やサービス管理責任者と連携し、聞き取り日時の調整を図りました。
- イ 専任職員を1名配置しました。そのため兼務職員の担当者数を減らして対応することができました。

## (3) 人材育成

ア 下表の通り、研修に参加しました。

日付	研修名	主催者名	参加者名
6/15, 7/20 8/10, 9/14	相談支援基礎研修	相談支援専門員協会	山崎
7/5, 11, 18, 26	ストレングスモデルに基づくケアマネジメント研修会	埼玉葛北自立支援協議会	川崎
8/7	相談支援の基本及び相談支援事業所の役割についての研修	久喜市自立支援協議会	山崎
11/6, 12/5 1/7, 2/12	相談支援従事者現任研修	埼玉県	渡邊 川崎
12/3	認定調査研修	久喜市自立支援協議会	山崎
12/25	自閉症者への支援	まほろば	山崎
2/3	精神障害に対応した地域包括ケアシステム構築推進研修	幸手保健所	山崎

## (4) リスク管理

- ア 相談者から受けた相談や個人情報を取り扱いに充分注意をし、記録等は鍵のかかるロッカーに保管し、漏洩しないようにしました。
- イ 苦情は特にありませんでしたが、相談者からの要望や関係機関から得た情報は全体で共有し、同じような事案の時に対応できるようにしました。